

## The 251st Programming Deliberation Committee

### 第 251 回番組審議会 議事録

開催日 2021 年 7 月 20 日（火）

出席者：湯川れい子委員長、亀渕昭信委員、角田陽一郎委員、安藤美冬委員、吉田拓巳委員

1、

議題（審議番組）：Community Diver

放送日時：毎週水曜 21:30 - 22:00

DJ：芦沢ムネト

#### 会社からの説明

ラジオ放送 x コミュニティの実験的番組。CAMPFIRE社とのコラボレーションで実施。ゲストには、アーティストやクリエイター、コミュニティの実践者が登場。「コミュニティってなんだろう？」を軸にトークを展開していく。DJは、音楽番組MC・インタビュアーなど幅広いフィールドで活躍中の芦沢ムネト。自身もオンラインコミュニティを主催しており、知見を有している。番組と連動した公式コミュニティでは、映像・音声アーカイブの視聴・聴取が可能。また、コミュニティ独自の取り組みとしては、オリジナルグッズを制作するプロジェクトを開始。DJと、ゲストで出演した佐藤詩織（元欅坂46）が、コミュニティメンバーを交えて企画会議を開催、交流をはかっている。今回審議されたラジオ番組のゲストは、『百円の恋』で知られる映画監督の武正晴氏。NETFLIXで配信の映像作品『全裸監督 シーズン2』では総監督を務めた。

#### 委員からの意見・感想

審議委員 A

まず初めに『全裸監督』をタイムリーに見ていたもので、ゲストの武監督の話を聞くことができて面白かった。また、通常の映画とストーリーミングの作り方の差を聞けたりするのは、自分の職種とも関係しており興味深く、ぶっちゃけ話も大変よかった。番組としては DJ の芦沢さんがしっかりと作品を理解して分析していたので、より会話が深くなっていてよかった。楽曲がほとんど挟まらないスタイルの番組も Podcast のような形で新鮮。あっという間に 2 本分聴いてしまった。

#### 審議委員 B

2 週にわたってとても面白く聴いた。DJ の芦沢さんは語り口も柔らかく、またゲストのファンということで話も盛り上がっていたが、芦沢さんのコミュニティに対する知見をもっと盛り込めるとよかった。ゲストの武監督はおそらくどの番組でも面白いお話ができるので、CAMPFIRE とのコラボ番組ということであれば、監督・俳優・芸能界のコミュニティの裏側の話などが聴けると、この DJ に、このゲストで番組を放送する意義が出せたのではないだろうか。

#### 審議委員 C

自身の経験も含め、トークが一番面白い職業は映画監督だと思っているので、ゲストトークは非常に面白く聴いた。ただ、先進的な取り組みをしている CAMPFIRE と組んでいるのであれば、この番組も先進的な取り組みをすべきではないか。現状は、ただのトーク番組になってしまっているので、例えば、コミュニティメンバーからゲストへの質問を募るなど、インタラクティブ性を持つとよいのではないか。

#### 審議委員 D

百戦錬磨の武監督をゲストに呼んだことで、有益な話が聴けた。番組の最後に監督が若い方に向けて話している箇所があったが、これを冒頭に持っていく構成もありだと感じた。選曲も非常によかった。ただ「実験的番組」とうたっていることで、それが聴く人のハードルを上げてしまっているように感じる。もし本気でラジオとコミュニティの実験をし、リスナーを囲い込むとするならば、1-2 時間の番組をつくった方が、本来の目的につながるのではないかと感じた。現状であれば、単なる対談番組としたほうがよいと思う。

#### 審議委員 E

ゲストの武監督のトークは非常に面白かった。体当たりで人生をつくってきた人の強さには説得力があった。この番組については、コミュニティの実験的な番組であるとの説明があったが、そもそもラジオ番組自体もひとつのコミュニティだと考えている。番組の存在意義は、DJ の芦沢さんがリーダーとして、「どれだけ魅力的なコミュニティをつくっていけるか」「それを社会に広げていけるか」だと感じた。

#### —会社側の回答

番組に対する評価、改善・要望などの意見を真摯に受け止め、より質の高い音楽番組の制作に向け改善を図る。

以上